

平成 27 年 6 月 18 日
 静岡県水産技術研究所
 資源海洋科

静岡県シラス船曳網漁の 6 月以降の漁況予測

『要旨』 平成 27 年漁期漁獲量を 7,200 トンと予測しました。

《記事》

3 月 23 日に初漁があった平成 27 年漁期のシラス船曳網漁は、5 月下旬まで好調に経過し、主要 6 港(用宗・吉田・御前崎・福田・舞阪・新居)に所属する 2 艘曳漁船による漁獲量は、昭和 60 年以降の 31 年間で 5 番目に高い 3,660 トンに達しました。なお、5 月以降の漁獲物の主体はカタクチイワシのシラスでした。

過去 30 年間の 3～5 月の漁獲変動パターンと今年を比較すると、今年の漁獲パターンは“春好調 B”に分類されます。図 1 に 3～5 月までの累積漁獲量と漁期漁獲量の関係を 4 パターンに分けて示しました。

この関係から今漁期の主要 6 港の総漁獲量を 7,200 トン(6 月以降 3,540 トン)と予測しました。これは、過去 25 年平均値(6,855 トン)を 5%上回りますが、昨年の漁期漁獲量(8,042 トン)を 10%下回る量です。

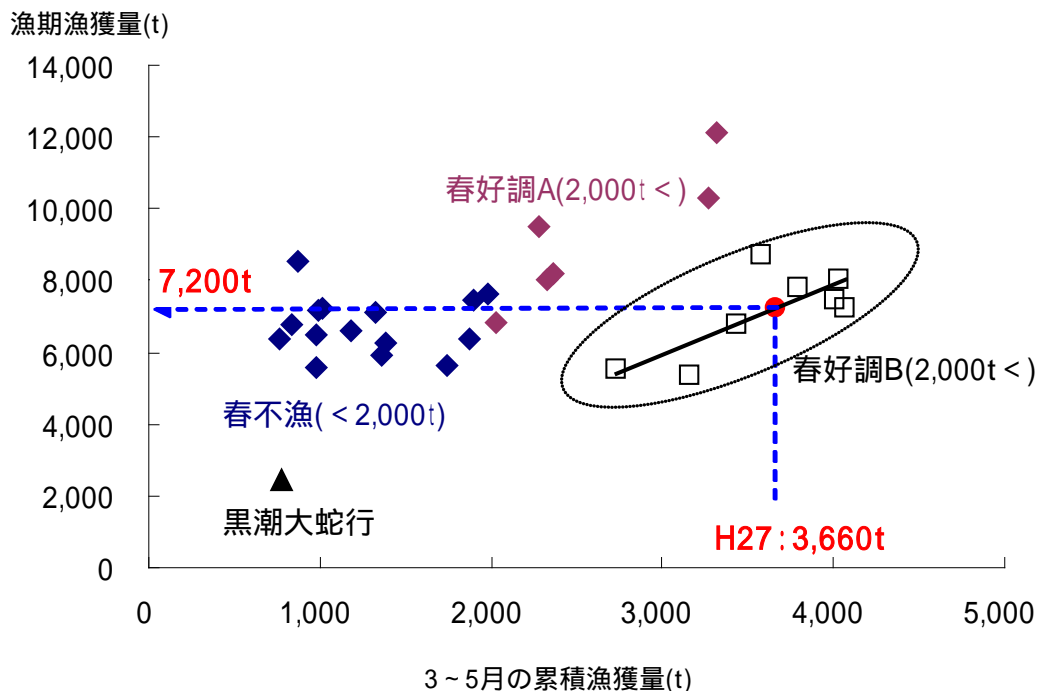


図 1 3～5 月の累積漁獲量と漁期漁獲量の関係